

## CS こひつじ科礼拝式次第

2021年5月23日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。  
隣人を自分のように愛しなさい。」 マルコによる福音書 12章30・31節

10、ことりたちは（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 使徒言行録2章1～13節

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

5さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あっけにとられてしまった。人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。わたしたちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、また、メソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、フリギア、パンフィリア、エジプト、キレネに接するリビア地方などに住む者もいる。また、ローマから来て滞在中の者、ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もあり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。

おはなし 聖霊降臨・教会の誕生

長尾 牧先生

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。」使1:8

今日はペンテコステです。

「ペンテコステ」とはなんでしょう？ 私が小さいころ初めて聞いたとき「変てこ助」かと思いました。変なひとの名前かなと思っていました。

「ペンテコステ」はギリシャ語で、「ペンテ」は数字の5、「コステ」は10の意味です。ですから50日目のお祝いという意味です。日本語では「五旬祭」といいます。

では、何から50日目なのでしょう？「イースター」からです。イースターは知っていますよね。

十字架につけられたイエス様が3日目に復活なされた日です。きれいなゆで卵をもらいましたよね。

イエス様はイースターに復活され40日後に天国に帰られたのですが、帰えられる前に弟子たちにこう言っています。「わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」(ルカ 24:49)

それでは2000年くらい前の「ペンテコステ」の今日、何が起こったのでしょうか、弟子たちがイエス様のことばにしたがって都で一つになって集まっているとき、突然はげしいあらしのような音が家じゅうに聞こえて、炎のようは舌が集まった一人一人の上におりてきました。なんだか怖いですね。

でもそれは父(神様)が約束された力に覆われることだったのです。

その後、集まったそれぞれの人は他の国のことばで話出しました。それは皆が外国語を知っていたわけではなく、神様が約束された力によるものです。その力のことを「聖霊」とよびます。

これが教会の誕生です。集まった弟子たちは都にとどまっていることをやめて聖霊に力づけられてイエス様のことを世界中に伝えに行きます。そして世界中に教会が出来て行きました。

神様とイエス様と聖霊さまはもともと一つのもので、神様とイエス様はいま天にいますが、聖霊さまは世界中あらゆるところで働きをしています。いまこの上福岡教会も聖霊さまとともにイエス様の家として神様に守られています。

イエス様を信じるみんな一人ひとりも聖霊さまに守ってもらっています。神様とともにいられることを感謝して毎日をすごしましょう。

\* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

92、ワワワいっしょに (こどもさんびかをお用ください)